

平成30年6月5日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

議会運営委員会
委員長 高橋 達也

委員会視察調査報告書

本委員会の調査事件について、智頭町議会会議規則第77条の規定により、調査結果を下記のとおり報告します。

記

1. 期 日 平成30年5月18日（金）
2. 調 査 地 鳥取県日野郡日南町霞800番地 「日南町議会」
3. 目 的 日南町議会「議会改革に関する調査特別委員会」における取り組みを学び、智頭町議会の議会慣例見直し等の検討を行い、議会活性化につなげる。
また、タブレット端末を導入した効果と今後の課題について聞き取りを行い、透明性のある議会運営を行うことを目的とする。
4. 派遣委員 議会運営委員5名並びに議長
高橋達也、大河原昭洋、酒本敏興、河村仁志、大藤克紀、
谷口雅人

5. 調査内容

日南町議会は、平成23年6月21日、議員全員で構成する「議会改革に関する調査特別委員会」を設置し、平成27年3月までに34回委員会を開催して、議会の活性化に資する改革について議論し、ひとつずつ実践している。

特別委員会設置直後の7月には議会改革について「町民の意見を聞く会」を町内9箇所に出かけ3日間に亘って開催。住民との意見交換の中で、「議会や議員の活動が目に見えない。」「本会議前の委員会や全員協議会で全て下話ができているのではないか。」など、議会への不満・不信の声を受け止め、議会機能の充実、情報公開、民意吸収、議員定数及び報酬など、住民から出された多岐にわたる意見を参考に、これまでさまざまな改善に取り組んでいる。

議会機能の充実に向けた取り組みとしては、平成24年7月末に「政策立案に関する特別委員会」を設置。翌年2月までの7ヶ月間で、住民から要望の強かった「住宅リフォーム助成」「廃屋解体撤去奨励」「意欲ある農業者支援」の3つの政策の具現化について審議を重ね、「住宅改修助成条例」「意欲

ある農業者支援条例」を委員会発議し、「空き家等の適正管理に関する条例」は執行部とのすりあわせの上、町長提案として条例化するなど、平成25年度から助成制度をスタートさせたという成果を上げている。

情報公開に関して、議会日程等を議会ホームページやCATV（全世帯で視聴可）、防災無線放送で幅広く周知し、議会運営委員会終了後には、議会ホームページに会期日程、議案概要、一般質問通告要旨を掲載。また、本会議当日には一般質問における町長答弁要旨を公開し、議会での審議内容が誰でも確認できるようになっている。

平成26年度からは、議会における経費や労力節減及び会議の効率化と情報収集、発信の促進など、議員活動及び議会の活性化とペーパーレス化を目的に、議会運営にタブレット端末を導入。議案をデータで作成しメールでの配信を始めたことで、議案自体をホームページに公開できるようになり、住民は職場や自宅に居て議員と同じ資料を見ながら議会に参加できるようになった。

このように、日南町議会では種々の改革によって具体的成果を上げてきたが、平成27年4月に行われた町議会議員選挙では無投票という結果となった。議員のなり手不足深刻化を改めて痛感し、改選後の6月に「議会基本問題調査特別委員会」を設置した。

特別委員会において、議会に関する諸問題を調査、検討した中で、時代と住民のニーズに応じた改正が必要と判断し、平成28年11月に18歳以上の全町民を対象にアンケート調査を実施。58%の町民から議員定数が多いという調査結果を受け、平成31年4月の改選時期より現在12人の定数を10人に削減することを決定。現在、議員報酬の増額や中学生議会開催についても検討を進めているという事であった。

6. まとめ

智頭町議会も昨年7月の改選期に無投票という結果となった。

これは智頭町に記録が残る昭和51年以降で初めて選挙が行われなかったという事になり、選挙で民意を反映するという民主主義の根幹を揺るがしかねない大きな問題と言わざるを得ない。

全国的にも問題視されている政治への無関心なのか、議員定数の問題なのか、議員報酬に問題があるのか、智頭町議会としても様々な問題点を洗い出し、整理して、議論を活発化させていく必要性を感じている。

今回、日南町議会の議会改革の取り組みやタブレット端末を導入した経緯を学んだことで、智頭町議会としても、より住民に信頼され機能する議会となるため、今後更に透明性が高く、効率的で迅速な議会運営、議会の活性化など、さらなる議会改革を推進していくことが必要と感じた。